

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	百貨店（店長）	・来客数の増加傾向が続いていることや、百貨店における主要カテゴリーであるファッション関連の売上回復が継続している。
	◎	旅行代理店（経営者）	・10～11月は年間でも最繁忙期になる。ただし、運転手不足のため、バス事業の仕事がこなせるか心配である。
	◎	旅行代理店（従業員）	・インバウンドも増えており、対応できないために断る案件も出てきている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・観光地を訪れる多くの人から、旅行を満喫している様子が伝わってくる。外国人旅行者も相変わらず多く、2～3か月後の紅葉シーズンも、旅行マインドは強く維持されるとみている。今後は、受入れ側の態勢作りが急務である。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・10月中旬になり、農作物の中心が東北産から関東産に変わってくれば、野菜価格も下がり、需要も増えてくるのではないかとみている。
	○	スーパー（総務担当）	・夏の暑さも終わり、電気使用量も抑えられ、ガソリン代も落ち着いてきている頃なので、少し回復するのではないかと。
	○	衣料品専門店（統括）	・祭り等はこれからも実施されていき、それに伴って販売も上向き、客も増える。引き続き、少し良くなっていくのではないかと。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、輸出に力を入れているため、現在の円安傾向が追い風になり、電気自動車関連等の巨額な設備投資を進めている。これらが稼働するのはもう少し先になるが、地域では明るい材料だと捉えられている。
	○	その他専門店（総務担当）	・時期的に良くなる予想である。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・催事の開催や週末の間合せ等は増えてきているため、皆、前向きのように感じている。
	○	一般レストラン（経営者）	・秋に入り暑さも落ち着いて動きやすくなり、宴会も期待できそうである。景気は緩やかに良くなっていく。
	○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による外食産業の自粛が取り払われた感があり、日々売上が増加している。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・秋の行楽、イベントシーズンを迎え、近隣のコンベンション施設や体育館が稼働率を上げている状況もあり、宴会、宿泊需要共に堅調に推移している。料飲部門では宴会需要が伸びている分をカバーできる調理スタッフがいないため、料飲のスタッフを宴会に投入する必要があり、10月以降、期限を決めずにディナーをクローズすることになった。ランチ営業は堅調に伸びているため、早期の調理スタッフ確保が急務である。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなる。
	○	ゴルフ場（従業員）	・猛暑が収まり、ゴルフのベストシーズンであるため、やや良くなる。
	□	商店街（代表者）	・電気料金やガソリン、食料品の値上がりが続く、景気が良くなる要素は見当たらない、生活必需品以外は絶対といってよいほど、買物をしない様子がみられる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・年末に向かっていくが、物価が安定してくれば人の動きも出てくると思うが、高値安定ではなかなか良い方向には向かわない。新型コロナウイルスの感染状況の影響もあるとみている。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・いろいろなものの価格上昇などで、客の動向が多少鈍っている。
	□	百貨店（営業担当）	・来客数を始めとして、緩やかにではあるが回復基調にある。ただし、エネルギー価格の高値維持等、物価高は継続するため、慎重な購買動向も変わらない。
□	百貨店（営業担当）	・今後2～3か月の見通しも、現在の悪い状況が改善されるとは考えにくい。また、先の見えにくい足元の新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行等、取り巻く商環境は、厳しいまま平行線をたどると考えられる。	
□	コンビニ（経営者）	・来客数は前年並みで下げ止まりの感じがある。客単価は値上げにより伸びたが、買上点数は減少している。レジ回りの商材のついで買いや衝動買いが減ったようで、財布のひもが固くなった感じである。	
□	家電量販店（店長）	・3か月後に向けて需要が改善する要素は見当たらない。現状、補助金等がないと前年の売上を超える要素はない。	

□	乗用車販売店（販売担当）	・観光バスや観光目的の乗用車の交通量が多くなっていると実感している。ただし、受入れ側が人手不足で大変だという話は、来店客からも聞いている。どこも人手不足で、このまま2～3か月先も、客は来るものの人手不足により対応が不十分になってしまうのではないかと心配な状況である。景気は良いままで変わらない。
□	住関連専門店（店長）	・物価上昇と値上げは当たり前の状況だが、打開策がないため、変わらない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・円安による値上げが、更に追加される状況で、プラスになる要因はほとんどない。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・今の傾向がこのまま続きそうである。メーカー側は円安で単価が上がってきている。低価格商材も値上がりしており、まとめて発注しないと、仕入れできないようになってきている。輸入価格プラス送料のアップで、ダブルパンチである。小売側は価格転嫁が難しい状況になっている。
□	一般レストラン（経営者）	・報道で様々な感染症が流行しているとあおっているような気がする。外出を自粛する動きにならないか心配である。
□	都市型ホテル（総支配人）	・処理水の問題で、インバウンドが今後どのように推移するのか注視していきたい。現状は若干影響が出ているようにも感じられる。
□	旅行代理店（営業担当）	・秋の旅行シーズンを迎えるが、夏シーズンはボーナスの影響を受けて良かったが、冬のボーナスまでは下向き傾向になる。
□	タクシー運転手	・地方の景気は、良くなるのはまだ先のような気がする。変わらないというのはいい方である。
□	通信会社（社員）	・現時点では変わらない。
□	通信会社（営業担当）	・現状の物価が続き、実質賃金の減少が続く限りは変わらない。
□	通信会社（総務担当）	・人気の新モデルの入荷が安定し、予約販売からフリー販売に移行すると、それなりに販売増加につながる。
□	テーマパーク（職員）	・全国旅行支援も終了し、近場の旅行から行動制限のない旅行に戻った反動で、来園者数が大幅に伸びるとは思えない。
□	競輪場（職員）	・社会情勢に良くなる要因が見当たらない。
□	美容室（経営者）	・インボイス制度が始まることで、消費税納税を免除されていた店からは不満は出るだろうが、税負担の平等化という観点からは、至極当たり前である。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・広範囲にみて、周辺状況は総じて良くない。緩やかに悪化し、景気回復の兆しがみえない。
□	設計事務所（所長）	・少し上向きになった景気ではあるが、諸物価の上昇等の影響で、しばらくは横ばいになるのではないかとみている。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・例年、年末に向けた動きが出てくる時期で、特別な外的要因がなければ、例年と変わらないとみている。
▲	スーパー（商品部担当）	・乗客数が減少し、1品単価は上昇しているものの、買上点数の減少が続いている状態に変化がないので、現状より良くなることはない。
▲	コンビニ（店長）	・高温の日が長期間にわたり、客足が増加していた反動が出てくる。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・婦人洋装を扱っており、季節商材が中心なので、季節の変わり目がはっきりしていかないと、なかなか客の購買意欲も湧いてこない。今年は、それこそ新型コロナウイルス感染症発生から続いた自宅待機や行動自粛等を引きずっていたところに、この猛暑で、どうしても人の気持ちが前向きに外出しようとするところまでいかない。今後もずっと悪いのではないかと予想している。
▲	家電量販店（営業担当）	・今年は暖冬が予測されているため、冬物商材の準備、エアコン対策を強化予定である。また、電気料金の高騰もあるため、省エネ家電の提案をしていく。
▲	乗用車販売店（従業員）	・受注残が減少している。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・身の回りに活気がないと感じている。報道や政治的な話からは、なかなか将来的に良くなるとか、安心してお金が使えるようなムードではない気がする。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・人手不足のところに最低賃金上昇が加わるため、求人面が一段と厳しくなる。賃金水準のクリアだけでは採用確保にはつながらない。企業の魅力度や採用方法の多様化などに、もう一歩踏み込んでいく必要がある。

	▲	旅行代理店（所長）	・冬季はどうしてもオフシーズンになるため、来客数も減少する。宿泊や忘年会の需要も、時代的に厳しくなっていることに加えて、コロナ禍により団体宴会の受入れ可能施設が減少しており、なかなか難しい状況である。
	▲	通信会社（局長）	・今のところ、何か大きなことで変わる見込みがないため、現状のままかやや悪くなる。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・物価が上がっているものの、まだ企業の給料が追いついていない。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・中国の不動産業界が悪い方向に向かっているため、影響が出てくるのが予想される。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・思った以上に円安、物価高、光熱費高騰が、庶民の重荷になっている。本当に必要な物以外は買わないという傾向が強くなってきている。
	×	家電量販店（店員）	・国内の家電需要には明るい材料が乏しい。
	×	乗用車販売店（経営者）	・いまだに新車の納期は遅延傾向である。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症対策のゼロゼロ融資の返済がスタートして、中小企業はますます厳しくなっている。食材の高騰や最低賃金の引上げ、円安、インボイス制度導入による相手先の変更等の判断材料からしても、良い要素は見当たらず、景気は悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・電気やガソリンに補助金を出して価格を下げるのではなく、為替介入なり、イールドカーブコントロール撤廃とはいかなくても調整するなりして、少しでも円高に持っていかないと、原料を輸入に頼る企業はますます疲弊していく。物価が上昇しても仕入れや販売経費も上がっているため、そう簡単に人件費に回せないのが現状である。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・現状が悪いだけに希望も込めて景気が回復してほしい。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・今後の受注は増えていく傾向にはあるが、いまだ材料調達面と人材不足に不安がある。また、新たに製品の輸出に関する不安材料が出てきており、減産や生産をストップすることにもなりかねない。当月になってみないと分からない先の見えない状況が続いている。
	○	広告代理店（営業担当）	・年末に向けて、旅行や会食、イベント等についての話題をよく聞くようになっており、活気はあるように感じている。
	○	経営コンサルタント	・中小企業の受注と販売の状況は、上流から下流まで、広い業種にわたって上向いている。地域経済全体は、なだらかに回復するとみている。
	○	司法書士	・法律改正の効果はしばらく続く。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・出荷等の状況はずっと変わらないが、良くも悪くもないことが、良いことだと思っている。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・特段の変化もなく、営業している。
	□	金属製品製造業（経営者）	・先の様子は分からない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・内示情報に対する大幅な減産は、主に中国市場の変化を起因としており、短期での回復は見込めないと予想している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先の様子、受注量等は余り変わらない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況がいまだに続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・秋冬物の衣料品やレジャー、バーベキュー用品、テント、コンロ等や、暖房器具、こたつ、ヒーター等の物量は前年並みを確保予定である。ただし、燃料価格の高騰、ドライバー不足は深刻で、特に関東外への輸送車両確保は厳しい予想で、利益も薄くなりそうである。
	□	社会保険労務士	・年末消費は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後初めての年末なので、ぱっとお金を使う人と物価高により消費を控える人に分かれそうである。
	▲	食料品製造業（経営者）	・あらゆる物が値上がりし、増税もあるなか、中小企業は簡単には賃上げができない。そのうち景気が悪くなるのではないかと。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・例年、秋の今頃が1番忙しいため、2～3か月先はやや悪くなる。

	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・先行きは少し不透明で分からないものの、何となくこれからはやや悪くなっていくような気がする。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・生産計画によれば、多少落ち込む部署があるため、やや悪くなる。
	▲	建設業（総務担当）	・工事が足りていない上に、この先増えそうな感じもないので不安である。
	▲	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・人件費や物価高によるコスト増から経費が増加し、情報化投資を抑える企業が増えるとみている。
	×	建設業（開発担当）	・8月末現在の発注は5か月の実績で、残り7か月である。現在の当社受注は前年比10%減少なので、今後の受注に期待している。
	×	不動産業（管理担当）	・資機材の値上がりが続いており、空室テナントについても、内見はあるものの契約に至らず、賃料収入の見通しは暗い。
雇用 関連	◎	—	—
	○	*	*
(北関東)	□	人材派遣会社（経営者）	・観光地における旅館等の収容人数が限られている。従業員不足で、アルバイト、パートもなかなか見つからない状況がある。農作業、水産関係は、どうしても外国人の雇用に頼る動きがある。全体的には賃金の格差が非常に大きいため、材料費等の高騰、飲食、食料関係では仕入価格の安いところを探す動きがあるが、いずれも厳しい。人件費はなかなか上げられない状況にある。
	□	人材派遣会社（社員）	・今のところ当地区の入込客等をみると、稼働率は高く、順調に推移していると思う。ただし、物価高やインボイス制度のスタートもあって、どのような動きになるのか、やや不透明である。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・年末に向けても増産等の話は少ないものの、減産等の話もない。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月比で、医療、福祉分野では増加傾向で推移している。一方、建設業や製造業は増加と減少を繰り返している。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	・10月から最低賃金の改定があり、また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の流行の兆しもあるため、景気の回復傾向はやや下がるとみている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・物価高騰により、残業規制等の人件費抑制で悪循環となっている。
	×	*	*